

第3回 PDA 即興型英語ディベート中学生全国大会 募集要項
The 3rd PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

1. 趣旨

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の中学生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>

2. 日程

2020年3月21日(土)

3. 会場

大阪府立大学 I-site なんば

(〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階)

<https://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>

4. 主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：大阪府立大学

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

5. 参加対象

日本在住の中学生。1校3名または4名でお申し込みください。

最大受入数：16校程度 ※2020年3月に中学を卒業する生徒を含みます。

以下の条件に該当する生徒は、チームに2名までの申込みとなります。

(1) 英語を第1言語、第2言語とする国で2年以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）

(2) インターナショナルスクールまたはそれに相当する学校に2年以上通学経験のある生徒

(3) 家庭または学校で常用的に英語を使っている生徒

6. 参加費

各校1万円

7. 賞（予定）

優勝、準優勝、
ベストディベーター賞、POI 賞

8. タイムスケジュール

12:00 開会式
12:20 予選 1
13:30 予選 2
14:40 決勝進出チーム発表、決勝準備
15:00 決勝
15:20 レクチャー
15:40 表彰式、アンケート
16:00 終了

9. 申込み方法（準備中）

募集要項をご確認のうえ、以下のウェブサイトよりお申込みください。

<http://www.pdpda.org>

申込期間：公開日～2月28日（金）

（最大受入数に達し次第、締め切ります）

10. ジャッジ参加

本大会のジャッジは、即興型英語ディベートの経験および教育的配慮がある社会人、大学生・院生、教員を対象とします。各校1名の教員ジャッジを帯同していただくことを原則とします。しかしながら、即興型英語ディベートの進行およびジャッジに不慣れな教員もいらっしゃる想定されます。よって、本大会では、合宿や教員研修会に参加された教員のみを大会ジャッジの対象とさせていただきます。即興型英語ディベートの経験がない教員の皆様につきましては、トレイニージャッジ（ジャッジの横で見学）としてご参加のほどよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

entry@pdpda.org

申込書の入力項目

- 都道府県（プルダウン）
- 学校名【正式名称でご記入ください。大会パンフレットにそのまま記載されます。
例：〇〇県立**中学校】（入力）
- 代表者（連絡担当者）
郵便番号（入力）住所（入力）代表者の氏名（漢字）（入力）電話番号（入力）
メールアドレス（入力）
- チーム
生徒名 1（漢字姓入力）（漢字名入力）（ローマ字姓入力）（ローマ字名入力）
（海外生活歴）
生徒名 2（漢字姓入力）（漢字名入力）（ローマ字姓入力）（ローマ字名入力）
（海外生活歴）
生徒名 3（漢字姓入力）（漢字名入力）（ローマ字姓入力）（ローマ字名入力）
（海外生活歴）
生徒名 4（漢字姓入力）（漢字名入力）（ローマ字姓入力）（ローマ字名入力）
（海外生活歴）
教員ジャッジ（漢字姓入力）（漢字名入力）（ローマ字姓入力）（ローマ字名入力）
即興型英語ディベートの合宿や研修会参加有無 有・無（選択）

（上記（海外生活歴）については、以下からの選択）

- ・海外生活歴なし（以下に該当しない）
- ・英語を第1言語、第2言語とする国で2年以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
- ・インターナショナルスクールまたはそれに相当する学校に2年以上通学経験のある生徒
- ・家庭または学校で常用的に英語を使っている生徒

個人情報の利用目的および取扱い・研究協力のお願について

本申込にご記入いただく内容は、大会プログラム、報告書等の各種印刷物、ホームページへの記載および連絡のために使用させていただきます。

また、大会中の写真や動画、結果がインターネット、新聞、雑誌等の媒体で紹介、販売されることがあります。

上記利用目的以外に、取得した個人情報を使用することはありません。

- 個人情報について
上記の個人情報の利用目的および取扱いについて
参加者全員が同意する（ボタンチェック）

大会で撮影、録音されたデータは、個人が特定されない形（例えば、元データに話者の名前などの個人情報が入っていればその部分は公表しない、論文誌などでの発表の際は個人がわからないよう顔をぼかすなどをし）で処理し、研究のみに使用されます。【研究の目的】「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムの設計論およびサービスを構築することを目的とします。（簡単に言い換えると、我々の持つ知識やアイデアをうまく広げていくためのやり方を提案することを目的とします。）ディベートやビブリオバトル、発話権取引、ブレインストーミング、ワールドカフェ等といった従来のコミュニケーション場のメカニズムを分析しその設計原理を抽出することで、人々の持つ潜在的かつ分散的な「知」を引き出し顕在化（可視化）させ、集合知を生み出すコミュニケーション場のメカニズムデザインの原理と開発手法を明らかにします。応用事例として、デジタルデモクラシー（ITを取り入れて、政治家・市民・企業のコミュニケーションをより密接にする民主政治）に向けた対話空間を創出します。【研究内容】議論の可視化を目的に、ディベートにおける議論を録音し、書き起こし、単語の共起度や評価との関係性を調査します。【個人情報・データ管理】収集した撮影、録音データおよび同意書は、匿名化し10年間保管します。議論の書き起こし、解析において業務委託する場合は、秘密保持、個人情報の保護がなされる業者のみを対象とします。また、学会や論文掲載誌にて研究成果を発表する場合、個人が特定される文章抜粋はしません。研究での使用後は、収集した撮影、録音データを削除します。（研究責任者 中川智皓 大阪府立大学工学研究科 准教授）

- 研究協力のお願について
上記研究協力のお願について
参加者全員が同意する（ボタンチェック）